

インターバンクの声（2016 年 7 月 22 日）

東京時間の昨日早朝には久々に107円台に戻っていたドル/円だったが、夕方、唐突に黒田日銀総裁が「ヘリコプターマネー」政策について「必要はないし、可能性もない」と述べたことが伝わり、あっという間に105円台中盤までドル売りが進んでしまった。しばらくすると、この黒田総裁発言が英BBCの特集番組インタビューのために6月中旬に収録された際の内容だったことがわかると、106円台前半までドルが買い戻された。ただ、この唐突な報道があるまでドル買いポジションを抱えていた人の多くが大なり小なり痛手を負ったことで、昨夜は、この時点で107円台に戻す気力を失ったかのようなだった。金融市場で配信される情報サービス会社から流れる高官・要人発言の類は、およそ直近の内容のはずなのが暗黙の合意だと思っていたが、どうも実際は違うのかも知れない。昨日、一昨日の発言と1ヵ月以上も前の発言では全く意味を成さない場合もあるはずだ。いつの発言だったのかを最初の報道時に明示しなかったのが意図的だったのではとも勘ぐりたくなる。気分の悪い一日の終わり方だったが、気を取り直して週末の取引に臨みたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。